

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2001-500723(P2001-500723A)

【公表日】平成13年1月23日(2001.1.23)

【出願番号】特願平9-542848

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 0 7 K 14/155

C 0 7 K 14/18

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/576

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/155

C 0 7 K 14/18

C 1 2 Q 1/68 Z

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/576 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月30日(2004.4.30)

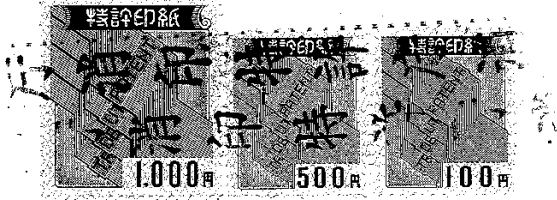
【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】



(1,600円)



手続補正書

平成16年4月30日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成9年特許願第542848号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94608, エミリービル,
ホートン ストリート 4560

名称 カイロン コーポレイション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正により増加する請求項の数 1

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

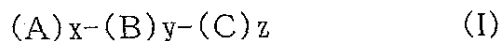
7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. イムノアッセイにおいて使用するための複数コピーエピトープ配列であって、該複数コピーエピトープ配列は、一般構造式(I)：



を有し、

ここで、(I)は直鎖状アミノ酸配列であり；

Bは、少なくとも5かつ1,000より多くないアミノ酸を含有するアミノ酸配列であって、該アミノ酸は、生物の天然に存在する抗原決定基に対応し；

AおよびCは、各々Bおよび互いと異なるアミノ酸配列であり、各々独立して少なくとも5かつ1,000より多くないアミノ酸を含有するアミノ酸配列であり、該アミノ酸は天然ではBに隣接しない抗原決定基を示し；

yは2以上の整数であり；そして

xおよびzは各々独立して整数であり、ここでx+zは1以上である、複数コピーエピトープ配列。

2. A、B、およびCが複数の生物由来のエピトープである、請求項1に記載の複数コピーエピトープ。

3. A、B、およびCがC型肝炎ウイルスの免疫優性なエピトープである、請求項1に記載の複数コピーエピトープ。

4. A、B、およびCが1種のウイルスのエピトープであり、少なくとも1つのBは該ウイルスの異なるウイルス株由来の等価抗原決定基である、請求項1に記載の複数コピーエピトープ。

5. A、B、およびCがHCVポリタンパク質の領域由来のエピトープであり、ここで該領域が、NS3、NS4、NS5、c100、C25、コア、E1、E2、c33c、c100-3、およびc22からなる群より選択される、請求項3に記載の複数コピーエピトープ。

6. イムノアッセイを産生する方法であって：

複数の異なるエピトープをコードするヌクレオチド配列を同定する工程；

発現カセットへ該ヌクレオチド配列を配置する工程、ここで、エピトープの所定の抗原決定基をコードする配列の少なくとも2コピーが、該カセットに配置される、工程；

複数エピトープポリペプチドとしてエピトープをコードする配列を発現するために、該カセットで適切な宿主を形質転換する工程；

該発現した複数エピトープポリペプチドを精製する工程；および

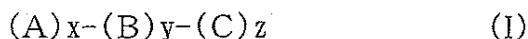
イムノアッセイのために該複数エピトープポリペプチドを修飾する工程、
を包含する、方法。

7. 前記エピトープがHIVおよびHCVからなる群より選択されるウイルスのエピトープである、請求項6に記載の方法。

8. アッセイデバイスであって：

支持体表面；および

該支持体表面に結合するエピトープであって、ここで該エピトープは一般構造式(I)：



を有し、

ここで(I)は直鎖状アミノ酸配列であり；

Bは、少なくとも5かつ1,000より多くないアミノ酸を含有するアミノ酸配列であって、該アミノ酸は生物の天然に存在する抗原決定基に対応し；

AおよびCは、各々Bおよび互いと異なるアミノ酸配列であり、各々独立して少なくとも5かつ1,000より多くないアミノ酸を含有するアミノ酸配列であって、該アミノ酸は天然にはBに隣接しない抗原決定基を示し；

yは2以上の整数であり；そして

xおよびzは各々独立して整数であり、ここでx+zは1以上である、エピトープ、

を備える、アッセイデバイス。

9. A、B、およびCがC型肝炎ウイルスのエピトープである、請求項8に記載のアッセイデバイス。

10. A、B、およびCが1つのウイルスのエピトープであり、各Bが該ウイルスの異なるウイルス株由来の等価抗原決定基である、請求項8に記載のアッセイデバイス。

11. A、B、およびCがHCVポリタンパク質の領域由来のエピトープであり、ここで該領域が、NS3、NS4、NS5、c100、C25、コア、E1、E2、c33c、c100-3、およびc22からなる群より選択される、請求項8に記載のアッセイデバイス。

12. 請求項1に記載の複数コピーエピトープを含有するアッセイ組成物であって、該複数コピーエピトープが検出可能なマーカーに接着されている、アッセイ組成物。

13. 1工程イムノアッセイであって：

請求項1～5のいずれか1項に記載の複数コピーエピトープとサンプルを接触させる工程；および

抗原／抗体複合体の存在を、該複合体のメンバーへの検出可能なマーカーの結合により検出する工程、
を包含する、方法。